

夕刊 日三十月七

常磐每日新聞

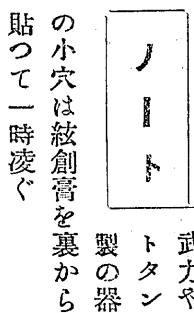
定価 一部金貳拾五圓 月金五拾圓 郵費五圓
 廣告料 五圓十二字 第一行 金五拾圓
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇〇
 社 址 常磐毎日新聞社

農民の聲

藤崎 四郎

經濟界不況の餘波を觀面に受けた地方農村の、今日の收入減少に對して何と賦課公租の多き事よ。『農は國の基』とか『舉國農村救濟』等の聲を聞きしに聽くが、如何に聲を暖らして絶叫して見ても慘澹たる現狀はどうにもならない。政府の救濟策の一つとして、土木匠救事業が盛に行はれ、御蔭で豫期せぬ收入を見た農民達は漸く支出の義務を果し、糊口をしのぎ居る状態である。

神聖なるべき自己の業務をうとんずるは愚の至りである。農民はこの時に自覺を要する。然し彼等は平生如何に努力しても支出に追付く事が出来ず、年中金錢に苦しんで居るのだ。食料にさしてもの過分な公租を賦せられては貴重なる食料を割いても金に換へねばならない



武力やトタン製の器の小穴は絨創膏を裏から貼つて一時凌ぐ

しかも現世の不況では多くを賣つても得る所は極めて僅少である。けれども農民は純朴だ、正直だ、社會の爲とあれば食に少々不足を來しても支出を厭はない。茲に都人士の知り得ぬ氣高い彼等の苦勞がある。若き男女は之を見兼ねて都會へ出稼する。そして

明日の献立

- 【朝】紅茶 カステーラ フルーツ
- 【晝】鹽焼——鱈 大根おろし
- 【晚】オムレツ——玉葱 玉子 鳥肉

ハンマーの音物凄き工場に或は又上流家庭臺所の一隅に、人知れぬ苦勞と戦つて得た食料の大部分は故郷の家族へ送られるのだ。之等の金が如何に苦しき父母を慰める事だらう。然し此尊き金も右から左へと借金穴うめに消えて行く。農民は稼いでても稼いでも貧乏につきまとはれてゐるのだ。有閑階級の醜行汰汰頻々たる今日、私は斯うした農民の苦衷を訴へて彼等の反省を促したい。



みどり

飯岡 美代子

はためきし昨夜の嵐のかげもなくけさはみどりに澄める大空
 浴み後の心安さを椅子に寝て沁みじみあふぐ五月晴かも
 肺病みて歸り來りし飛驒里のみどりの空のなつかしきかな

草

佐田 輝一

はつといておくれ斯うして石のやうに頭をつつこむと草の色が心いつばいにしみこんで來る
 ほつといておくれ斯うして石のやうにころがつて居ると草の乳のやうなものが心いつばいに湧き出て來る

晴れても雨でもさせる
晴雨パラソル
 新型子供ポーチ各種
ツルヤ
 平 四 電話一四〇番

このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えしました

外科 X 光線科
性病科
外科科
 平町田町
安齊外科醫院
 電話四七五番

入院隨意

地 貸

一冊の代金で御希望通りな**五冊の雑誌**が自由で讀める

川崎 回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

平町堂の前(訓盲院の)千六百坪の**埋立地を分割して貸します**

- 一、區劃整然と分割してありますから一マス又は連續して適當に御相談に應じます。
- 一、建築なさる方には御相談の上工費の半額位へ迄御融通申上ります。
- 一、地代は場所に依り相違しますが最も安價に御便宜をお圖りします。

右御希望の方は左に御照會を乞ふ。
山田文一商店地所部
 平町仲町通り(電話二六二番)

夜 間 診 療

性病科
 花柳病科
 性病科
 皮膚科

胃腸科
 胃腸病科

門 專

院醫科性病胃腸村松
 (番七〇一電町南町平)

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお勧め致します
 平町九六
喜多流 仕舞 白土會
 詳細は本會へ御問合せ下さい 電一

縣下學生野球の

審判員委嘱決定

東都斯界の權威十二名

福中(同山形屋)福商双 中(同大瀧屋)田中

巡回露營で

移動する講習會

町村の中堅人物養成

平町縣下野球大會協賛會では縣下中等學校野球大會も愈々十日後に接近したので各般の準備に忙殺されてゐるが審判員は十二名を招聘各球場に四名宛配置試合の進行を圖る可く過般東京六大學リーグ當局に幹旋方依頼中の處本日左の九名決定試合の前日に來平するが殘る三名は法政大學現選手中より決定を見る筈である

縣下野球

宿舍割當

來る二十三日より三日間平町を中心として開催される縣下中等學校野球大會出場選手並に役員は宿舍は此程左の如く決定した

(住吉屋本店)縣役員、審判員、出場各校長(炭屋)石中(扇屋)安中喜中(鶴屋)會中(大村屋)保中(泉屋)會工(甲陽館)達中(住吉屋支店)福師若商(尼子亭)相中(藤田屋)白中(湯本松)

收穫の記録破り

菜種反當り三石

石城郡農會では年々菜種の二毛作栽培を奨励した結果現在百五十町歩の反別に達したが反當りの收穫は從來二石五斗を最高であつた處今回大野村宇田の鈴木寅之助氏は見事に郡下記録を遙かに破つて反當り三石の收穫をあげて驚かれて居るが本年の相場は三等一俵で

漁船給水

小名濱町で簡易水道を

小名濱消防組では豫てより計劃中であつた漁船給水の爲め今回工費五百圓で古港地内に簡易水道の給水栓を設置する事になつた

女教員會

明日第二校に

既報郡下各小學校の女教員會は明日十四日午後一時より平第二小學校講堂に於て總會を開き國語合唱、勸語奉

讀、會務報告、役員改選等あり平第二小學校訓導志賀ナカ氏の縣下女教員會の報告、錦校瀨谷ツネ氏の「子供の繪畫生活」と題する意見發表及び古川縣視學の講演がある筈

第三校教員

初出場に

善戦を期待

平第三小學校では來る二十九日平第一、第三及び平商球場に於て開催される郡下小學校教員軟式野球大會に出場メンバーを左の如く編成目下猛練習中であるが同校は初出場の事であり善戦を期待する

平窪共同販賣

平窪村農會では昨十二日午後一時より小學校で總會を開き

菜種及び小麦の共同販賣日に就いて協議せる結果菜種は本月廿五日小麦は八月一日と決定した

磐中考査終了

去る九日より開始された磐中考査は本日終了した

矢崎技手講演

神谷農事試験分場の矢崎技手は來る廿日田村郡農會主催の講習會に於いて秋蒔蔬菜に關しての講演を行ふと

平町人事

回出生

△紺屋町四二當時東京市品

川區西大崎一ノ六四三橋光之助氏四男四郎

回婚 姻

△草野村字東大苗代坂本一郎二六仲間町六六廣田マサ二三

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

木村外科醫院

自炊入院の便あり 平町六丁目日橋際 電話三〇九番

風薫る青葉の初夏!

水郷を訪ねて 散歩に... 旅行に... スパシク良く寫るMSカメラ

懸賞寫眞大募集

MSカメラ

七月二十日 七月二十一日弊店々頭 発表 七月二十一日弊店々頭

平 前部 ラメカやみづい

鼻病、腦病 化學治療薬

ピノサン

小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓 著腦症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用薬で手軽に僅かな費用で治療の出来るピノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい 御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告 御持参の方に一人一回試薬致します

石城郡特約店 村山書店 販賣御希望の方特に御相談に應ず

34年型新車購入

初夏!

快ろよい微風が頬をかすめて 吹く...野邊に.海邊に アナタのリーベとの遠乗りに 散策に一御私用に是非御 乗下さい。 ニュー・カーを!

平.三 芹澤タクシー

電話 395

又も悪店員

伊關吳服店の白鼠

賣代金をゴマ化したり

主人の隙に傳票を破棄

二名檢舉さる

平署では過般二千餘圓を主人から盗窃横領せる悪店員を檢舉し商店主連を驚かし

今度は二丁目飛んで伊關吳服店から二名の窃盗横領を働いた店員を檢舉した

伊關吳服店から二名の窃盗横領を働いた店員を檢舉した。栃木縣那須郡境村宇小原澤生れ荒井正(一)假名及び若松市西名屋二〇生れ小林一郎(二)の兩名にて荒井は昭和六年四月より見習として同店に雇れ昨年五月から反物行商の際

品物を賣りながら未収入として主人に傳票を廻し後になつて主人の隙を窺ひ傳票を破棄し代金を横領したり十圓の品は五圓の品を賣却した如く装つて差額を横領其の金五六百圓は全部茨城縣多賀郡華川村唐澤炭礦に坑夫を働いて居る父親荒井與太郎方に送金して實母トミ從兄小原澤耶及び本人等の名義で貯金して居たものである、また小林は昭和七年三月から奉公し昨年十月頃から店頭の金銭登録器から毎

月十圓内外宛窃盗した外主人に示した品物以外に家人の隙に

窃取した反物を賣却して三百圓餘を横領し其の金で南町カフエーパラダイ

夏の朝の朗らかさ

ラヂオで「おはよう」

毎朝校庭に参集して 國旗を掲げて体操

平町のラヂオ体操會は本年も八月一日より廿日間第一及び第三兩小學校庭に開かれるが昨年度の参加延人員は一般者が二千九百廿名、小學生が二萬五千六百廿一名の成績で本年は一般の希望者を大々的に募り日誌を備へて毎朝参加人員の状況其他知名の士、老齡者、不具者、病弱者の参加並に國旗掲揚に關する事項を記載する外毎朝御眞影奉安庫の禮拜、宮城遙拜を行ひ終了後は一同放送に合せラヂオ体操の歌を齊唱すると、因に同會の豫定は左の如くである

- 一、毎朝五時五十分迄に集合し午前六時より約三十分間ラヂオ放送に合せて全員一齊に体操を行ふ
- 二、毎週月曜日には体操開始前「君が代」の放送に合せ齊唱す
- 三、放送開始前國旗掲揚式を行ふ
- 四、適切なる時間に短時間の講演を行ふ

古河炭礦

遠足運動

好間村古河炭礦では来る廿二三日の公休日を利用して全従業員が同村愛谷江堰

明日のラヂオ

- 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間
 - お話 大工飛田與七關一
 - 後六、二五 基礎佛語講座
 - (28) 丸山順太郎
 - 後七、三〇 講演「文學美術」野口米次郎
 - 後八、〇〇 琵琶「護良親王」高峰筑風
 - 後八、三〇 小唄夢胡象外

- 明日の部
- 前六、三〇 基礎獨語講座
 - 24 橋本忠夫
 - 前七、二〇 聖典講義 21
 - 天軸接三

- 「化粧品考現」理學博士 西澤勇志智
- 後五、〇〇 職業紹介事項
 - 後六、〇〇 子供の時間
 - 童話劇「日本晴」名古屋ARC座
 - 後六、二五 家庭マツサー
 - シ講座 第四講 岡見瞭
 - 後七、三〇 獨唱 新交響樂團練習所より中繼 藤原義江
 - 後八、〇〇 長唄連夜三題
 - 其の一 綱館松永和風外大勢
 - 後八、二五 浪花節「由井正雪と泰式部」木村重松
 - 後九、〇〇 時事解説

- 裁判所たより
- △既報岩手縣瀧澤郡水澤町大字鹽釜字宮下一四生れ目下住居不定無職佐藤庄造(一)假名が小名濱町中坪疊職金成軍藏氏方に奉公中主人の金を合計四十圓窃取逃走し小名濱町、湯本町、平町等で前後五十六件の窃盗詐欺を働き去月二十四日平町松ヶ岡公園内に於て晝夜中平署員に逮捕された事件の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て香西判事係り清田檢事立會の下に開廷判事より檢事の求刑通り少年法により懲役一年以上三年以下を言渡された

格闘捕縛の 窃盜犯罪状

既報去る七日午前四時頃南町通りに於て平署員と格闘の上捕縛された窃盜前科二犯神谷村大字中神谷字瀬戸生れ目下住所不定鈴木伊助(三)の餘罪につき嚴重取調べた結果

去る七日午前三時頃内郷村大字綴吳服商小野辰藏方に忍び込み反物二反を窃取

虫害驅除 草野の水田

草野村北部地方稲作は天候宜しきを得たる爲め生育良好で既に一番除草も終つたが螟蟲の被害甚だしく殆んど全株を失なつたのがあるので目下之が驅除に全力をつくしてゐる

水泳開催地 磐女水選定に出張

會は既記の如く久之濱町影磯海岸が目下修築工事の爲め開催地を江名小名濱方面に選定する事になり本日酒井、日野兩係教諭が出張した

貯蓄九千餘圓 田町青年分團貯蓄會員の豫金は九千餘圓に達し今月末總會を開いて配當を行ふ爲め来る十六日午後六時より藤田女學校に役員會を開くと

夏休みを利用し 就職希望兒實習

平職業紹介所では來春卒業する小學生の就職希望者の爲め今夏休を利用して平町市内の各役所、會社及び商店等に八月十七日より廿三日迄の一週間給仕又は小役員として見習はせる事となり此程郡下連絡小學校に通牒を發したので給仕は通勤小役員は住込である

發電所の 流水で被害 縣廳に陳情

赤井村字高萩にある平電力會社發電所では送電の關係から夜間水を貯めて晝間一時に流す結果附近の水田二百六十八町餘は畔をこはされたり稻を流されて困るが

篠山校長上京 平第一小學校長篠山廉氏は今朝私用にて上京明晩歸平の豫定

平職業紹介所報告

回人を求める方

- △雜役 二十前後 尋卒 月十二圓
- △女中 廿才 尋卒 月五圓
- △回職を求める方
- △雜役婦 五十八才 無學 給料面談
- △鐵工 十九才 尋卒 給

夏休みを利用し 就職希望兒實習

平職業紹介所では來春卒業する小學生の就職希望者の爲め今夏休を利用して平町市内の各役所、會社及び商店等に八月十七日より廿三日迄の一週間給仕又は小役員として見習はせる事となり此程郡下連絡小學校に通牒を發したので給仕は通勤小役員は住込である

發電所の 流水で被害 縣廳に陳情

赤井村字高萩にある平電力會社發電所では送電の關係から夜間水を貯めて晝間一時に流す結果附近の水田二百六十八町餘は畔をこはされたり稻を流されて困るが

篠山校長上京 平第一小學校長篠山廉氏は今朝私用にて上京明晩歸平の豫定

平職業紹介所報告

回人を求める方

- △雜役 二十前後 尋卒 月十二圓
- △女中 廿才 尋卒 月五圓
- △回職を求める方
- △雜役婦 五十八才 無學 給料面談
- △鐵工 十九才 尋卒 給

近新音頭

(編輯上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

—八二—

長兵衛だ開けろ
さうしておいて長兵衛、突然丸太を抜いて一人の野郎をポカリ殴つた、

「アッ……」
といふ奴を横に引拂つたから右手に居た奴を殴りつける、一人は脇差と胴巻を引奪つて逃る奴を、後から背筋を目掛けて丸太を放りました、打つ付けられて

「アッ」
と前へ倒れる奴を飛んで行ってズル／＼と引摺つて来て、持つて逃げたのを取り返し、自分の帯で三人を薪を束ねるやうに縛つて

「サア野郎ども、貴様達は情と云ふものはねえか」
「何うぞ御免下さいまし、改心しますから御免なすつて……」

「改心するともしねえとも勝手にしろ一兩くれと云つたらなせもたして遣らねえんだ、だが怪俄アさせねえと云ふから命だけは許して遣る」

木の葉を集めて焚火を始め火の中へ三人の頭を突つ込んだ、熱い……熱い……何卒御勘辨……
と云ふのを
「我慢をしろ／＼」
と遂々三人を空坊主し

て品川へ戻つて参り、使者を以て何卒代参を頼むといつて遣りまして、自分は江戸幡隨院へ立ち戻り、町内を乗り打ちをするやうな人ぢやアないから、町内の入口へ来て下りて家の門口ま



「仔細あつて途中から歸つて来たんだ、開けろ」
「嘘を吐け……だが聲が能く似て居るぜ、ア、分つた白鬼の権太だ、頃日も家へ来て市郎兵衛さん、と云ふから誰だと聞くと長兵衛だあけると云つたから、急いであけると市郎兵衛さん、提灯を貸して呉んねえと云やアがつた、今夜も長兵衛さんの聲色を使つて來やがつた」
「真正の長兵衛とは思はず

で来て見ますると、家ぢやア博奕をして居りますのド
「開けろ／＼」
「誰だ」
「長兵衛だ、開けろ」
「今日江の島へ行つて今日歸つて来る奴があるもの

一ツ脅かして遣れと、子分が木刀を一本持ち、ガラリ戸を開けると、突然長兵衛の裾を拂つた。
「コレ何をするんだ」
「ヤー真正の親分だ」
「ソレ燈火を消せ」
と燈火を消してしまつて

雪隠へ逃げ込むものがあるば戸棚へ隠れるものもある「コレなせ燈火を消して終つたのだ、點けないか」
「點けちゃ不可ないか」
「誰だそんな事を云ふのは燈火を點けないか」
「ヘエ……」
漸う燈火をつけて見ると邊りは亂暴
「誰だ戸棚の中から足を出して居るのは、何をして居る」
「少し探しものがあつて……まだ中に五六人這入つて居ります」
「何んだ詰らねえ」
夢の市郎兵衛、唐犬権兵衛の兩人は奥へ飛んで行つて、蚊帳の中で寝た舉動をして居ると長兵衛奥へ遣つて来て蚊帳を外して
「権兵衛、市郎兵衛起ささつせい」
「ア……お歸んなさいまし」

店主	が	店員
を	運	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
喫	茶	
食	堂	
平・田	町	
ラ	ン	
サ	ロ	
ン		
電	三	五
番	二	番

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい

直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
町 産婦の御家庭 留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事 や 雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)
上原家政婦會
會主 上原通子

新 鯉節漬

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

石 炭
コークス
玉 炭
平 驛 前
阿部石炭商店
電話三七番

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

●店員募集
年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ